

平成19年度 事務事業評価表	担当	消防本部 総務課	内線等	99(2002)
事務事業名	消防施設維持管理事業		事業コード	4. 維持管理事業
根拠法令等	消防組織法		A 法令	

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	消防・救急
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象(受益者)	地元地域の防災活動拠点として
手 段	消防用施設の適正な維持管理を図り
想定する成果	各種災害に対応できる機能が確保できるようにする。

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
需用費	消防水利標識 消耗品費	72千円	消防水利標識 消耗品費	73千円	消防水利標識 消耗品費	73千円
	消防施設補修 費	149千円	消防施設補修 費	131千円	消防施設補修 費	300千円
負担金、補助 及び交付金	消火栓管理費 負担金	2,616千円	消火栓管理費 負担金	2,543千円	消火栓管理費 負担金	1,500千円
	防火水槽等用 地管理交付金	510千円	防火水槽等用 地管理交付金	505千円	防火水槽等用 地管理交付金	505千円

成果指標

成果指標名	市民1人当たりの事業費	消火栓修繕件数
成果指標の説明	総事業費 / 4月1日人口(外国人登録含む)	消火栓修繕件数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位:千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		77円				76円				66円			
成果指標		12件				10件				5件			
事業費	事業費	3,347				3,252				2,378			
	人件費	3,114				3,124				3,138			
	(人数)	正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤	
	合計	6,461				6,376				5,516			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他	14				14				14			
	一般財源	6,447				6,362				5,502			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	2	3	消防施設の維持管理を適切に行い、充実を図った。
経済効率性	2	2	2	2	現行の実施方法が経済的で、ほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	3	3	現行の実施方法が効率的である。
必要性	3	3	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	11	11	10	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	貢献度大である。
合計	14	11	13	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	消防施設の維持管理を適切に行い、充実強化を図ることは必要不可欠である。
------	---	---	---	---	-------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
消防団器具庫については、2階建ての詰所形式で検討し、なお用地確保等も含めて今後の実施計画の見直しが必要である。
上記改善点の実施状況
地元住民からの陳情及び要望もあり、経費の増大が見込まれるが平成21年度以降実施に向け検討中である。

今後さらに改善すべき点

施設の老朽化に伴い修理が多くなっているが、簡易な修理等は職員が実施し経費の節減に努める必要がある。

平成21年度予算に反映する項目

消防団器具庫の建替えについては、整備計画を調整し予算計上する。

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

